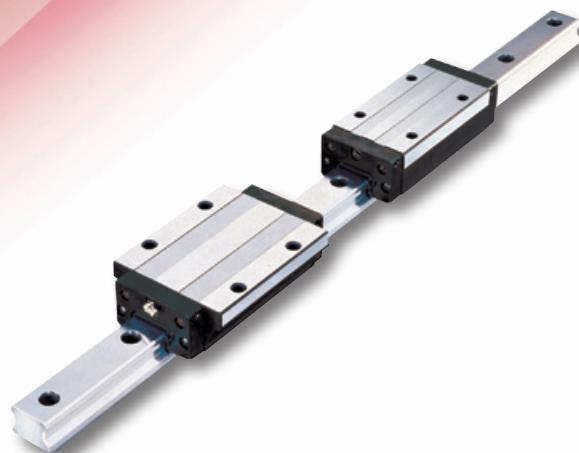


# 第45期 報告書

2014年4月1日から2015年3月31日まで



## 株主の皆様へ



代表取締役社長

高橋 昌博

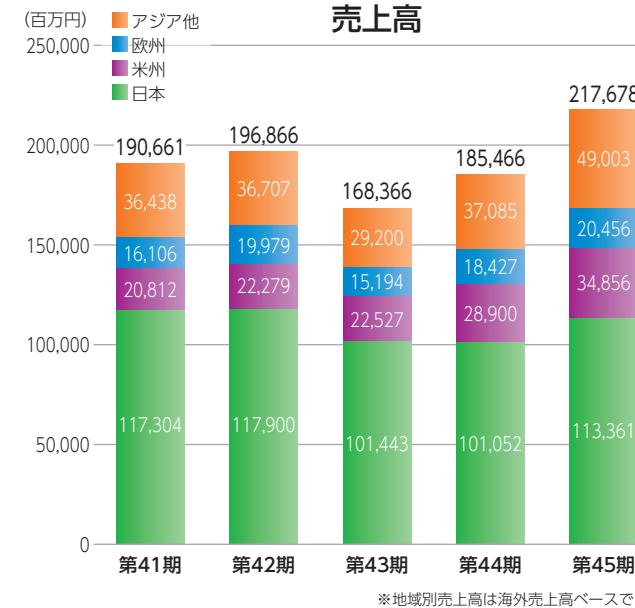
株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと存じます。

当期においては、新興国の経済成長が鈍化した一方、先進国を中心として経済に回復の動きが見られる中で世界経済は緩やかに回復しました。当社においては、工作機械の需要の増加に加えて、スマートフォンやタブレットPCなどに関わる投資に牽引されエレクトロニクス関連の需要が増加する中、これまでに強化してきた事業体制を活かして積極的な拡販に努めました。それらに加え、為替が前期に比べて円安で推移したことなどにより、連結売上高は前期比17.4%増の2,176億円となりました。利益面では、経営基盤の強化に向けた部門横断プロジェクト「P25プロジェクト」をはじめとした各種改善活動による固定費の効率化並びに変動費比率の改善に加え、為替が前期に比べて円安で推移したことなどにより、営業利益は前期比63.4%増の283億円、当期純利益は前期比45.6%増の227億円となりました。

当社は昨年の5月に策定した3ヵ年の中期経営計画において、最終年度である2016年度に連結売上高2,500億円、営業利益400億円、ROE10%以上を数値目標として掲げております。初年度となる2014年度は、連結売上高並びに当期純利益が過去最高となるなど、計画の達成に向けて好調な滑り出しができたものと考えております。引き続き基本戦略である「グローバル展開」と「新規分野への展開」を強力に推進させていくとともに、収益構造の改善にも取り組むことにより、必ずやこの計画を達成させるとともに、さらなる成長を成し遂げ、株主の皆様のご期待にお応えできるよう努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 連結業績ハイライト



日本 **↑12%増** 欧州 **↑11%増**

工作機械向けの需要の増加に加え、スマートフォンやタブレットPCなどに関わる投資に牽引されエレクトロニクス関連の需要が増加する中、積極的な営業活動を展開するとともに免震・制震装置など新たな市場の開拓に努めました。それらの結果、工作機械やエレクトロニクス向けなどにおいて売上高を増加させることができ、増収となりました。

引き続き経済に回復の動きが見られる中、製販一体となって既存顧客の深耕を図るとともに、医療機器や航空機、鉄道車両関連など新規分野を開拓すべく積極的な営業活動を展開しました。それらの結果、工作機械や一般機械向けなどにおいて売上高を増加させることができ、増収となりました。

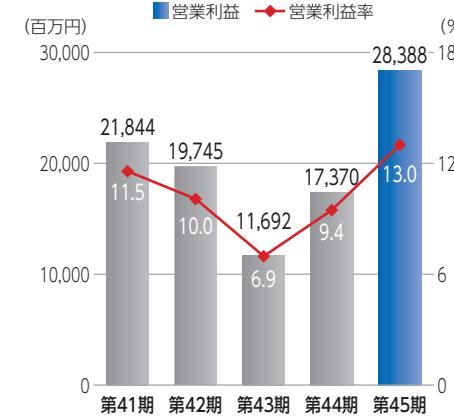
米州 **↑21%増** アジア他 **↑32%増**

好調な個人消費が牽引し設備投資も増加する中、製販一体となって既存顧客の深耕を図るとともに、医療機器や航空機、エネルギー関連など新規分野の開拓に努めました。それらの結果、エレクトロニクスや工作機械、輸送用機器向けなどにおいて売上高を増加させることができ、増収となりました。

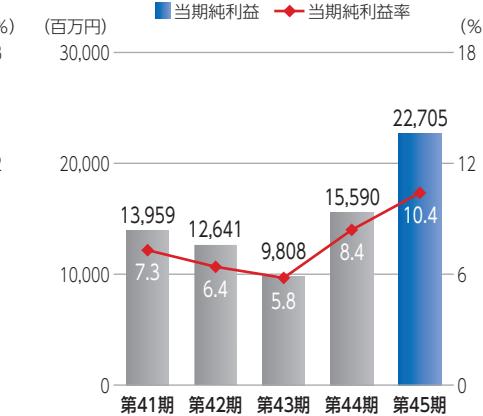
スマートフォンやタブレットPCなどに関わる投資に牽引され、小型の工作機械向けを中心として需要は増加しました。そのような中、これまで強化してきた販売網を活かし積極的な営業活動を展開した結果、工作機械や一般機械、輸送用機器など幅広い向け先において売上高を増加させることができ、増収となりました。

※各地域の増減率は前期比です。

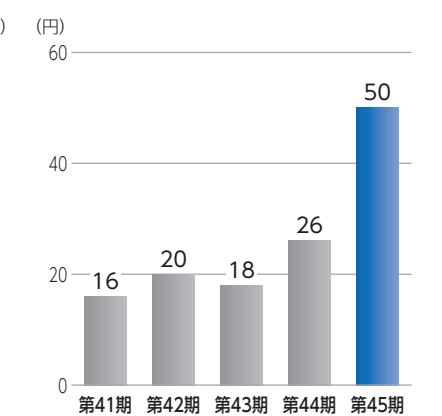
## 営業利益



## 当期純利益



## 配当金



## 中期経営計画

THKは2014年度を初年度とし2016年度を最終年度とする3ヵ年のフィックスプランである中期経営計画を策定し、数値目標として、連結売上高2,500億円、営業利益400億円、ROE10%以上の達成を目指しております。

計画の達成に向けては引き続き基本戦略である「グローバル展開」と「新規分野への展開」を加速させるとともに、長期経営目標である連結売上高3,000億円の実現に向けた強固な経営基盤を着実に構築してまいります。

### 中期経営計画

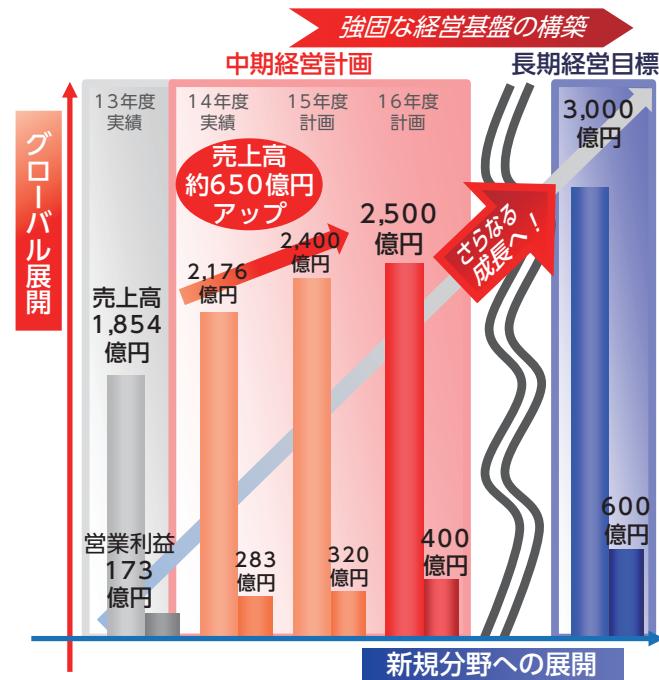
**【2016年度 数値目標】**

連結売上高	2,500億円
営業利益	400億円
ROE	10%以上

**【前提条件】**  
為替1ドル=100円 IMF世界経済成長率 3.8%平均  
生産財分野 市場平均成長率 5%程度を想定

**【中期経営計画のポイント】**

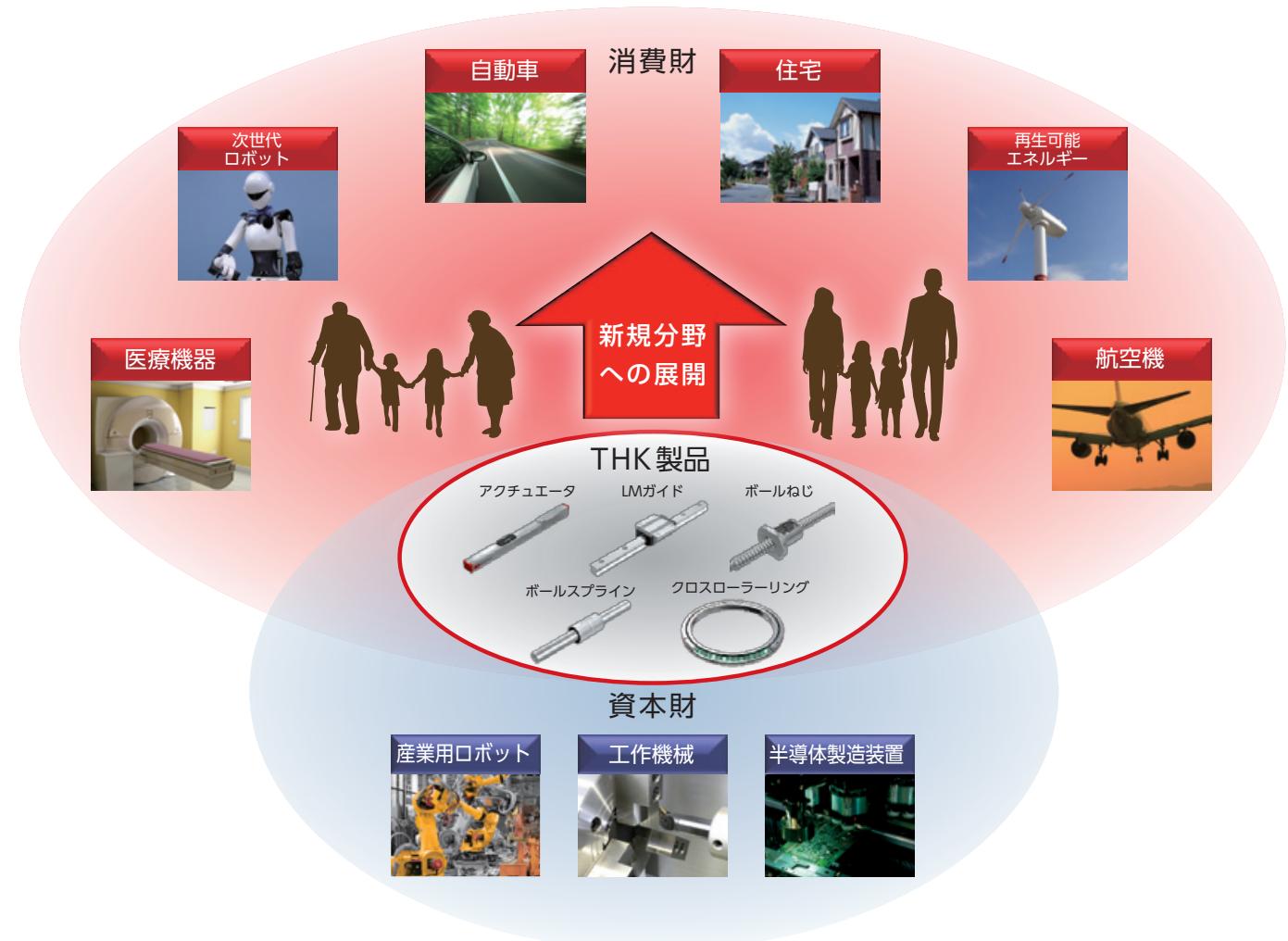
- ・2016年度を最終年度とするフィックスプラン
- ・過去最高売上高 過去最高益の更新
- ・基本戦略の継続とそのさらなる強化
- ・長期経営目標 連結売上高3,000億円、営業利益率20%への経営基盤の確立



## 様々な産業の発展に貢献するTHK製品

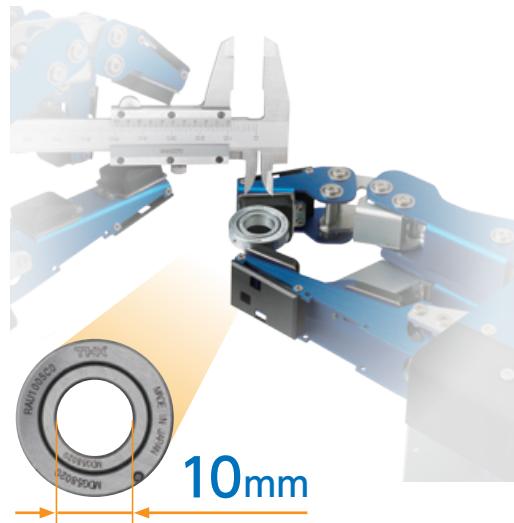
世界で初めてLMガイドを開発して以降、THKは世界No.1シェアを有しています。機械の直線運動を“ころがり”化するLMガイドは、これまで工作機械や半導体製造装置、産業用ロボットなどの様々な産業用機械に利用され、それらの高精度化、高剛性化、高速化に不可欠な部品として産業の発展に貢献してきました。

THKは、これまで培ってきた直動システムのコア技術と蓄積されたノウハウをベースとして、今後は多くの需要が見込まれる免震・制震装置などの住宅関連や医療機器、自動車、エネルギー関連といった消費財に近い分野の開拓を図っていきます。



## New Products

### ■超小型クロスローラーリング RAU形



クロスローラーリングは円筒ころが直交配列されているため、あらゆる方向の荷重を負荷できる、回転精度が高いローラーベアリングです。

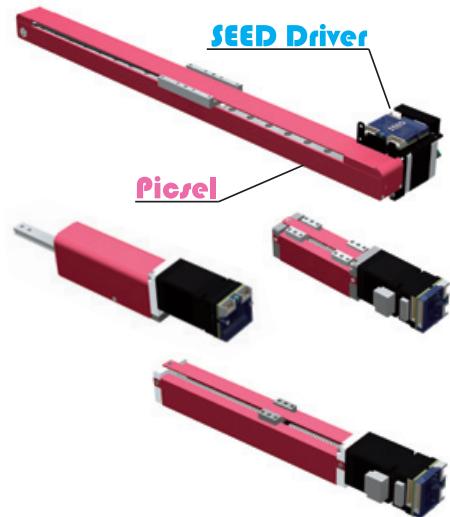
RAU形はクロスローラーリングの特長を保ちながら、内径10mm、外径21mmの超小型化を実現しました。従来の仕様に比べ、同じ荷重を負荷する場合にサイズダウンが可能のため、お客様の回転運動や旋回運動のコンパクト化・軽量化を可能にします。



#### 使用用途

人型ロボットやロボットハンドの関節部に使用しています。超小型のため、ロボットのサイズダウンが可能となります。

### ■シンプルアクチュエータ SEED+Picstel



小型通信コントローラドライバ「SEED Driver」とコンパクトなアクチュエータ「Picstel」を組み合わせたシンプルなアクチュエータシステムです。

ロボットテクノロジーの応用により、従来のアクチュエータに比べ、省配線・省工数・簡単操作を実現することでお客様のトータルコストを削減するとともに、装置のコンパクト化も実現しました。



#### 使用用途

卓上の接着剤塗布装置です。SEED+Picstelの採用により、装置のコンパクト化・簡単操作を実現しました。

## Topics

### ■大連THKの移転・拡張

供給体制の強化を目的として、大連THKの移転と拡張を実施し、顧客への納入を開始しました。

新しい大連THKの敷地面積は約90,000㎡となり、以前と比べて約4倍になります。主に工作機械や半導体製造装置などに使用されるボールねじや電動アクチュエータなどの機械要素部品を製造しております。

近年、経済成長がやや緩やかになりつつある中国ですが、一方で、より高度な機械や自動化設備に対するニーズが高まっています。

今後も市場の拡大が期待される中国において、需要動向に応じてさらなる生産能力の強化を図ってまいります。



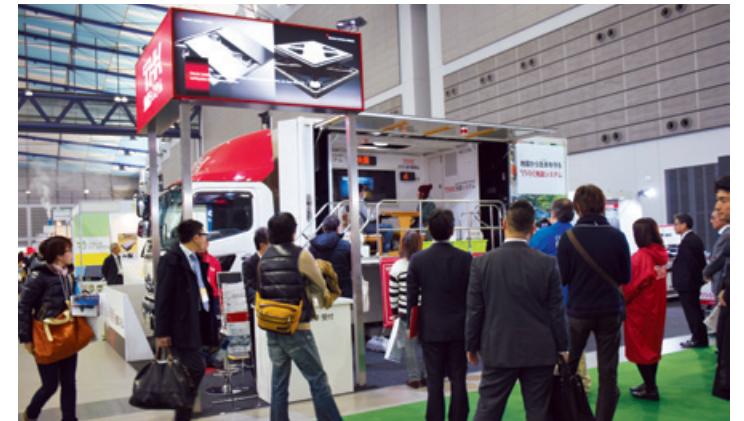
### ■防災産業展 in 仙台に出展

2015年3月15日から3日間、内閣府や宮城県、日刊工業新聞社主催のもと、防災への備えをテーマに開催された「防災産業展 in 仙台」に出展しました。

当産業展は、187の国連加盟国の首相らをはじめ、国内外から15万人以上が参加した国連防災世界会議と同時期に開催されました。

当社のブースでは、過去に起きた震度7クラスの地震を再現することができる免震体験車や、サーバ・美術品に最適な機器免震装置などを展示しました。また、免震体験車では、日本政府や海外の要人をはじめとして、多くのお客様に試乗頂き、地震の揺れに対する当社免震装置の効果を体感頂きました。

今後も災害対策という社会的課題に、全社一丸となって取り組んでまいります。

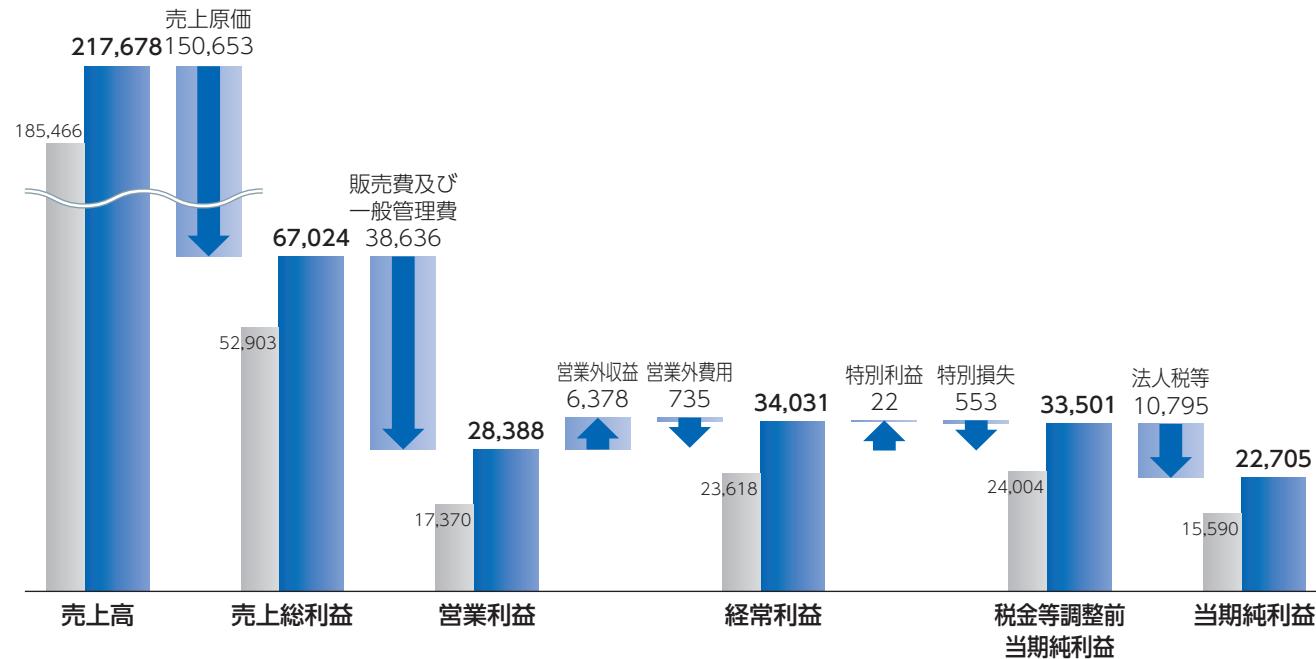


# 連結財務諸表 (要旨)

## ■ 連結損益計算書

■ 当期 (2014年4月1日～2015年3月31日)  
 ■ 前期 (2013年4月1日～2014年3月31日)

(単位：百万円)



### 売上高

国内では工作機械やエレクトロニクス、一般機械向けなどにおいて需要が増加し、海外でも各地域において需要は概ね堅調に推移しました。それらの結果、連結売上高は前期に比べて322億円 (17.4%) 増加し2,176億円となりました。

### 営業利益

経営基盤の強化に向けた部門横断プロジェクト [P25プロジェクト] をはじめとした各種改善活動が、固定費の効率化並びに変動費比率の低下に寄与したことなどにより、営業利益は前期に比べて110億円 (63.4%) 増加し283億円となりました。

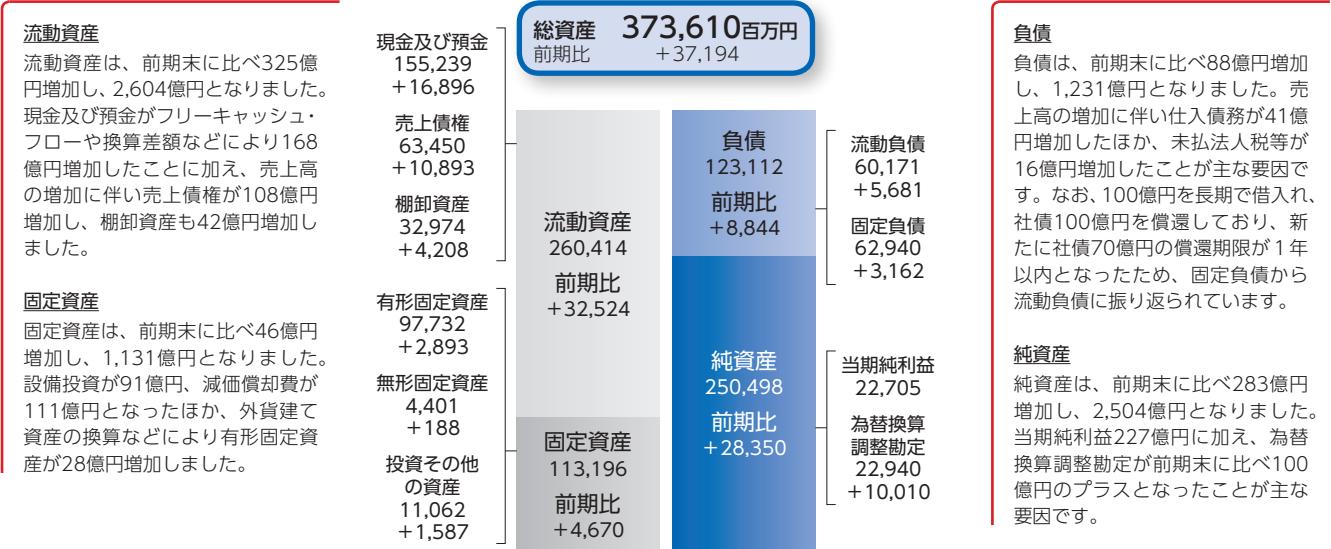
### 経常利益、当期純利益

営業外損益では、営業外収益は、為替差益が40億円となったことに加え、持分法による投資利益が5億円となったことなどにより、63億円となりました。営業外費用は、主に支払利息が4億円となったことなどにより、7億円となりました。これらの結果、経常利益は前期に比べて104億円 (44.1%) 増加し340億円、当期純利益は71億円 (45.6%) 増加し227億円となりました。

## ■ 連結貸借対照表

当期末 (2015年3月31日現在)

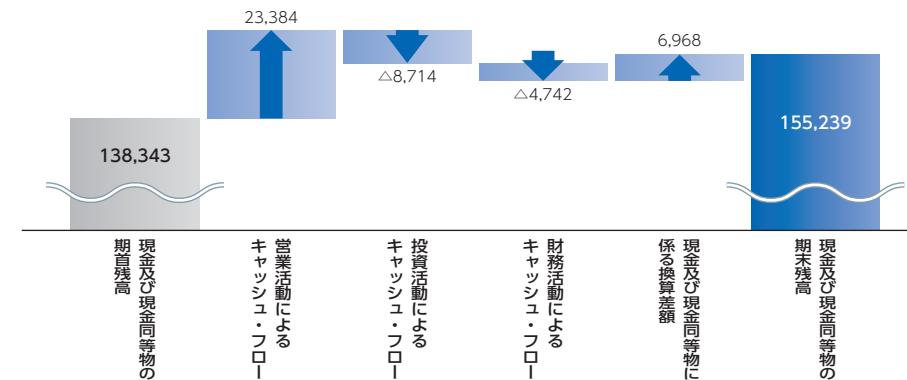
(単位：百万円)



## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

当期 (2014年4月1日～2015年3月31日)

(単位：百万円)



### 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益335億円、減価償却費115億円、為替差益44億円、売上債権の増加84億円、法人税等の支払額100億円などにより、233億円のキャッシュ・インとなりました。

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

主に固定資産の取得により87億円のキャッシュ・アウトとなりました。

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に配当金の支払いにより47億円のキャッシュ・アウトとなりました。なお、100億円を長期で借入れ、社債100億円を償還しています。

そのほか、換算差額により、当期末における現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べて168億円増加し、1,552億円となりました。

## 航空機分野への展開

THKは、工作機械をはじめとした産業用機械以外の新規分野に参入すべく、研究開発・販売を促進しています。今回は、航空機分野における取組みについてご紹介します。



世界的に航空旅客数の高まりが見込まれる中、一般財団法人日本航空機開発協会によると、ジェット旅客機の運航機数は2014年の約19,800機から2034年には約37,100機へ増加すると予測されています。

THKは、高い信頼性が求められる航空機分野において、使用目的や条件に応じて新たなころがり要素部品やカスタマイズ製品を開発・提案することで、航空機分野での採用を拡大させてまいります。

## 会社の概要 (2015年3月31日現在)

### ■会社概要

商号	THK株式会社 (THK CO., LTD.)
所在地	東京都品川区西五反田三丁目11番6号
設立	1971年(昭和46年)4月10日
資本金	34,606百万円
従業員数	3,353名 (THKグループ9,494名)
事業内容	産業用ロボット、NC工作機械、各種半導体製造装置等の産業用機械の高精度化、省力化、高速化を実現する「直動システム」の製造販売、並びに自動車等の輸送用機器部品の製造販売
ホームページ	<a href="http://www.thk.com/">http://www.thk.com/</a>
会計監査人	太陽有限責任監査法人

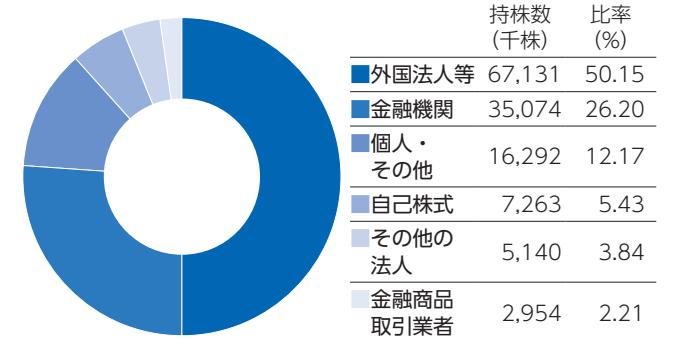
### ■役員 (2015年6月20日現在)

代表取締役社長	寺町 彰博
取締役副社長	寺町 俊博 今野 宏
取締役 兼 常務執行役員	榎 信之 大久保 孝
取締役 兼 執行役員	坂井 淳一 寺町 崇史
社外取締役	甲斐 莊正 晃 日置 政克
常勤監査役	木内 秀行 五十嵐 一則
社外監査役	渡邊 静夫 米 正剛
(参考)	
常務執行役員	林田 哲也 下牧 純二 澤田 雅人 星野 京延 神戸 昭彦 星出 薫 杉田 正樹
執行役員	木下 直樹 菅原 伸昭 桑原 淳一 山田 幸男 伊藤 栄 村本 等

### ■株式情報

発行可能株式総数	465,877,700株
発行済株式総数	133,856,903株
株主数	17,223名

### ■所有者別株式分布状況



### ■大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	10,486	7.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	6,095	4.55
寺町彰博	3,646	2.72
MELLON BANK, N.A. AS AGENT FOR ITS CLIENT MELLON OMNIBUS US PENSION	3,373	2.52
JP MORGAN CHASE BANK 385632	2,847	2.12
エフティシー株式会社	2,774	2.07
THE BANK OF NEW YORK 132812	2,168	1.61
JPMCB USA RESIDENTS PENSION JASDEC LEND 385051	1,897	1.41
RBC IST 15 PCT LENDING ACCOUNT - CLIENT ACCOUNT	1,651	1.23
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505225	1,609	1.20

※上記のほか、当社が所有している自己株式7,263千株 (5.42%) があります。

## ■株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
株主確定日	株主総会、期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券コード	6481
公告の方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない理由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 <a href="http://www.thk.com/jp/ir/">http://www.thk.com/jp/ir/</a>

## 株式に関するお手続きのご案内

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 郵送物の発送と返戻に関するご照会</li> <li>● 支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>● 特別口座に記録された株式のお問い合わせ</li> <li>● 株式事務に関する一般的なお知らせ</li> </ul>	<p>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)</p> <p>※手続き書類のご請求は以下の方法でも承っております。 Tel. 0120-244-479 (24時間自動音声応答、通話料無料) <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a> からのダウンロード</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 上記以外のお手続き、ご照会等</li> </ul>	<p>口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。</p>

## ■株価の推移 (2010年4月1日～2015年3月31日)



## ■IR情報サイトのご紹介

THKは、ホームページ内「IR情報」を通じて投資家の皆様に対し積極的な情報開示に努めています。最新のプレスリリースや過去の決算情報のほか、年1回発行のアンニュアルレポートなど、投資家の皆様にお役に立つ情報を公開しておりますので、ぜひご覧ください。

- ・「IR情報」のホームページアドレス <http://www.thk.com/jp/ir/>
- ・当社ホームページ 日本TOP ⇒IR情報



THK IR

検索



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。



THK株式会社